



学校だより

く が に 森



宜野湾市立大謝名小学校
令和 8 年 8 月 27 日
第 10 号
学校長 玉寄 誠

一人一人の個性が生き、豊かな人間性と創造力に富む心身共に健全な児童の育成

(スーパー大謝名っ子) (思いやりのある子) (よく考え行動する子) (最後までがんばる子)

明日、8月28日(金)から 2学期開始！

41日間の夏休みが本日で終了し、明日8月28日(金)から2学期が始まります。大謝名っ子のみなさんは、楽しい 楽しい夏休みを過ごすことができましたか？

大謝名っ子のみんなと、早く会いたいと思っていますので、明日は、笑顔で元気に登校してきてください。待ってますよ！

さて、今回は、夏休み期間中に行われた「第76回“社会を明るくする運動” 中部南保護区 社会を明るくする大会」の意見発表で、優秀賞に選ばれた5年1組 児童の作文と、「令和8年度第27回宜野湾市中学生スクールサミット」について紹介します。

今私たちにできること
5年1組

世の中には、「事件」と「事故」があります。「事故」はわざとではなく起きてしまうものですが、「事件」は人が起こそうとして行うことです。

つまり、事件は、私たちの力で止めることができると私は思います。はんざいのない「明るい社会」を作るために、地いきや私たちにできることについて考えてみました。

私が、夕方空手教室へ学校の近くを通過して向かったとき、道が暗くてこわい思いをしたことがありました。まわりが暗いと、だれかにねられそうでドキドキしました。

だから、せまい通路にもがいどうをつけてほしいです。そうすれば、明るくなってこわい思いをしなくなると思うからです。

また、一人で行動するのではなく、お兄ちゃんと空手教室へ行くようにします。

がいどうの色についても気になることがあります。白色か黄色のがいどうが多いですが、科学教室で青色は、人が落ちつく色だと教えてもらいました。

だから、がいどうも青色に変えると、歩いている人の心が落ち着くし、不しん者もはんざいをおこさなくなるようです。

次に、SNSで知り合った人と会うことで、ゆうかいが殺人などおそろしい事件にまきこまれることもあると、学校の授業で習ったことがあります。

私は、SNSの人とは会わずに、あやしいなと思ったらすぐお家の人に相談しようと思います。

最後に、一人で行動しないことも大切ですが、私は、地いきの人にあいさつをすることもはんざいをふせぐために大切だと思います。

あいさつをすることで、不しん者が、顔を見られて、はんざいをするのがなくなると思います。

それに、いつも声をかけ合う明るいまちなら、不しん者も近づきにくくなるはずです。だから私は、「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」など地いきの人にあいさつをしようと思います。

日本がもっと平和な国になるように、自分のことから始めようと思います。

写真は、スクリーンで確認ください。

宜野湾市中学生スクールサミット

7月31日に行われた「令和8年度第27回宜野湾市中学生スクールサミット」。

「宜野湾市中学生スクールサミット」とは、「生徒会活動を通して望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して学校の課題を解決しようとする自主的・実践的態度を育てる」事を趣旨に、宜野湾市内の4中学校の生徒会が各学校の実践報告発表と意見交換を行うものです。

今年度の中学生スクールサミットのテーマが、『「一人一人の思いをかたちに。思いやりの輪・あいさつの輪」～じのーんちゅで創る夢の学校(ドリームワールド)～』

今年も、山口県岩国市の3つの中学校とオンラインでつなぎ、岩国市の中学生とも交流を行いました。

この中学生サミットに、宜野湾市内小学校の児童会代表が参加しました。大謝名小学校からも児童会を代表して2名が参加し、各中学校の実践報告発表後に、中学生と小学生が混ざり、グループを作って意見交流が行われました。岩国市の中学校生徒もオンラインでグループに加わり、岩国市での取組を紹介したりしていました。

今回のスクールサミットで、中学校生徒会の行動力や活発な話し合い等に触れることができ、大謝名小学校児童会も、2学期以降の取組に向けて、ヒントとなることがたくさんあったことだと思います。